

# 第139回(令和6年12月)情報処理技能検定試験(データベース)4級問題

## <問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。  
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB4フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は20分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

## <テーブル定義>

### コースマスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	コースCO	長整数型	10
	コース名	テキスト型	和食

※コースマスタ.csvの1行目は項目名とする。

### 受付テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	受付CO	長整数型	101
	名前	テキスト型	大川 桜二
	コースCO	長整数型	20
	人数	長整数型	6

## <処理条件>

コース料理予約の人数が6人以下の受付一覧表を作成する。

- それぞれのコースCOを関連付けしなさい。  
<出力例>のとおり、それぞれの項目を選択しなさい。  
人数が6以下を抽出しなさい。  
[処理結果件数：6件]
- 表を作成しなさい。  
表題は“受付一覧表（6人以下）”とする。  
データの並び順は人数の昇順とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

## <出力例>

受付一覧表（6人以下）				
受付CO	名前	コースCO	コース名	人数
108	野浦 和代	20	フレンチ	1
		}		
101	大川 桜二	20	フレンチ	6

# 第139回(令和6年12月)情報処理技能検定試験(データベース)3級問題

## <問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。  
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB3フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

## <テーブル定義>

### 会社マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	会社CO	長整数型	11
	会社名	テキスト型	西藤工業
	区分CO	長整数型	1

※会社マスタ.csvの1行目は項目名とする。

### 部品マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	部品CO	長整数型	101
	部品名	テキスト型	プラスネジ
	加工単価	長整数型	3

※部品マスタ.csvの1行目は項目名とする。

### 受注テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	受注番号	長整数型	1001
	会社CO	長整数型	11
	部品CO	長整数型	103
	加工数	長整数型	5440

## <処理条件>

加工費が2万円より大きい加工費一覧表を作成する。

- それぞれの会社CO・部品COを関連付けしなさい。

受注番号ごとに加工費を求めなさい。

$$\text{加工費} = \text{加工単価} \times \text{加工数}$$

加工費が20,000より大きいレコードを抽出しなさい。

[処理結果件数：6件]

- 加工費の合計を求めた表を作成しなさい。

表題は“加工費一覧表（2万円より大きい）”とする。

データの並び順は加工数の昇順とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

## <出力例>

加工費一覧表（2万円より大きい）					
受注番号	会社CO	会社名	部品名	加工数	加工費
1005	19	アーク	ナット	5,010	20,040
		}			
1011	16	夢工房	ボルト	10,090	50,450
				合計	XXX,XXX

# 第139回(令和6年12月)情報処理技能検定試験(データベース)2級問題

## <問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。  
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB2フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

## <テーブル定義>

### 生徒マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	生徒CO	長整数型	11
	クラスCO	長整数型	101
	名前	テキスト型	井村 正和

※生徒マスタ.csvの1行目は項目名とする。

### 試験テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	生徒CO	長整数型	11
○	回数	長整数型	4
	国語	長整数型	60
	数学	長整数型	65
	英語	長整数型	70

### 累積試験結果テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	生徒CO	長整数型	11
○	回数	長整数型	1
	国語	長整数型	61
	数学	長整数型	63
	英語	長整数型	58

## <処理条件>

第4回試験のデータを追加し、三教科合計の平均が210点以上のクラス別成績一覧表を作成する。

- <試験テーブル>のすべてのレコードを<累積試験結果テーブル>に追加しなさい。  
[追加件数：80件]
- <累積試験結果テーブル>・<生徒マスタ>の生徒COを関連付けしなさい。  
生徒CO・回数ごとに三教科合計を求めなさい。  
三教科合計=国語+数学+英語  
[処理結果件数：320件]
- クラスCO・回数ごとに三教科合計を集計（平均・最大）しなさい。  
三教科合計の集計は“平均”・“最高”とする。  
平均が210以上を抽出しなさい。  
[処理結果件数：6件]
- 表を作成しなさい。  
表題は“クラス別三教科合計成績一覧表（平均210点以上）”とする。  
データの並び順は平均の降順とし、平均は整数未満四捨五入の表示とする。  
表の形式は<出力例>のとおりとする。

## <出力例>

クラス別三教科合計成績一覧表（平均210点以上）			
クラスCO	回数	平均	最高
104	3	222	254
	}		
101	4	210	272

# 第139回(令和6年12月)情報処理技能検定試験(データベース)1級問題

## <問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理フロー>および<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。  
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB1フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

## <テーブル定義>

### 顧客マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	101
	顧客名	テキスト型	平岡 陽太
	割引率	倍精度浮動小数点型	0.15
	地域CO	長整数型	10

※顧客マスタ.csvの1行目は項目名とする。

### 商品マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品CO	長整数型	1001
	商品名	テキスト型	あんぱん
	単価	長整数型	120
	区分CO	長整数型	1

※商品マスタ.csvの1行目は項目名とする。

### 地域マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	地域CO	長整数型	10
	地域	テキスト型	みなと

※地域マスタ.csvの1行目は項目名とする。

### 区分マスタ

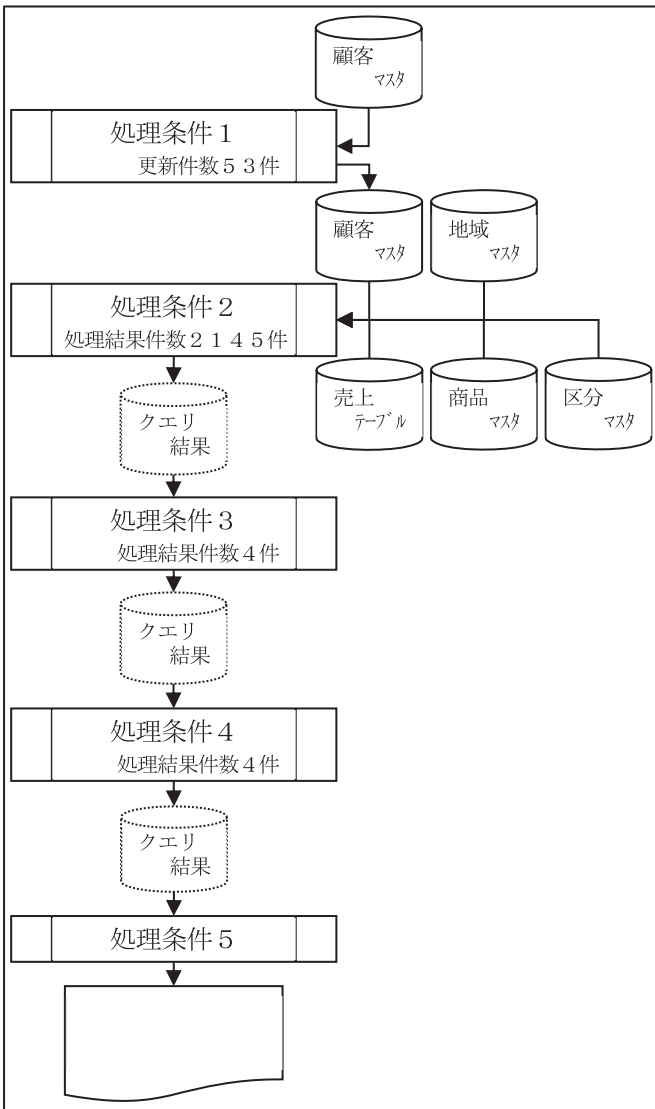
KEY	項目名	データ型	データ例
○	区分CO	長整数型	1
	区分名	テキスト型	食品

※区分マスタ.csvの1行目は項目名とする。

### 売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	101
○	売上日	日付/時刻型	2024/9/1
○	商品CO	長整数型	1033
	数量	長整数型	1

## <処理フロー>



## <処理条件>

- 割引率を更新した11月の売上集計表を作成する。
- 割引率が0または0.05のレコードの割引率を0.1に更新する。
  - 顧客CO・売上日・商品COごとに金額を求める。  
金額 = 単価 × 数量 × (1 - 割引率)  
売上日が2024/11/1から2024/11/30までを抽出する。
  - 地域CO・地域と区分名ごとに金額を集計(合計)する。
  - 地域COごとに地域平均を求める。  
地域平均 = (食品 + 衣料 + 雑貨) ÷ 3
  - 食品・衣料・雑貨の合計を求めた表を作成する。  
表題は“売上集計表(11月)”とする。  
データの並び順は地域平均の昇順とし、地域平均は整数未満四捨五入の表示とする。  
表の形式は<出力例>のとおりとする。

## <出力例>

売上集計表(11月)					
地域CO	地域	食品	衣料	雑貨	地域平均
40	駅前	160,803	242,018	165,410	189,410
10	みなと	316,721	701,729	422,464	480,305
合計		X,XXX,XXX	X,XXX,XXX	X,XXX,XXX	